

2025 年 4 月 25 日 第 3509 回例会

於： 横須賀商工会議所



<点鐘・開会> 12:30 高橋 会長

<斉 唱> 「我等の生業」

<会 長 報 告> *ガバナー事務所から

・2025-26年度インターアクト委員会・アクターズミーティング開催のご案内について

日時：5月10日（土）13:00～ インターアクト委員会

14:00～ アクターズミーティング

場所：第一相澤ビル6F「会議室」

<委員長報告> *第1グループ前田ガバナー補佐より『新会員と集う会』参加依頼について

*会報委員会 梁井委員長より会報（週報）のペーパーレス化について

<幹 事 報 告> *アメリカン・サウンド・イン・ヨコスカのご案内について

・日時：9月14日（日）15:00開演

・会場：横須賀文化会館大ホール

・チケット：3,240円/枚

*職場見学会について

・日時：5月16日（金）（会費：5月9日例会にて徴収）

<出 席 報 告> *出席委員会 角井副委員長から4月25日の出席報告

会 員 数	出席対象者数	出席数(ZOOM 出席数)	欠 席 数	メイクアップ数	出 席 率
112名	99名	59名(3名)	40名	15名	72.55%

メイクアップ：飯塚、勝見、加藤(元)、小佐野、齋藤(隆)、田中、萩原、松岡、松川、三井、吉田、鷺尾 第1グループIM出席 小保内、北村 両会員 地区委員会出席
新倉会員 横須賀西RC出席

<ニコニコ報告>

・三 役 クラブ・リーダーシップラーニングセミナーにご出席の皆様ありがとうございました。
本日の報告も宜しくお願いいたします。

・大 石、児 玉、大野 隼、小林 隼、秋 葉、八 木、野 坂、井 上、植 田、
杵 渕、久保田、江 口、杉 浦、森、梁 井、笠 木、鈴木 隼、佐久間、谷、
澤 田、土 田、小林 (-)、齋藤 隼、根 岸、田 邊、徳 永 各会員

本日は第3回クラブ協議会です。クラブ・リーダーシップラーニングセミナーの報告を
される皆様、楽しみにしておりますのでどうぞよろしくお願いいたします。

・加藤 隼、小 澤、梶 木、松本 隼、角 井、権 田、
長 尾、八 巻、小山 隼、山 下、鈴木 隼 各会員

本日はクラブ・リーダーシップラーニングセミナーの報告をさせていただきます。どう
ぞよろしくお願いいたします。

・藤 村 会員 今週の水曜日、葉山の真名瀬海岸にあるレッスンツァというイタリアンのお店で4月生
まれの会を開催しました。メンバーは三堀会員、J-COM 吉田会員、堀川会員、三宅さん
でした。新倉定治会員から美味しいワインを2本差し入れていただき楽しく会食できま
した。ありがとうございます。

・木 村、真 野、植 田、鈴木 隼、浅 葉、前 田、高 橋、瀬 戸、比 護、徳 永 各会員
大谷選手、第一子のご誕生おめでとうございます。花の国ではポピーが咲き誇り、まる
でその喜びを祝福しているかのようですね。これからのご活躍も楽しみにしています。

・吉田 隼、石 田、高 橋、小山 隼 各会員

最近、凶悪な犯罪事件の報道を耳にしますが、特にゴールデンウィーク期間中、侵入窃
盗が増加する傾向にあるそうです。戸締りや防犯をしっかり行い、安心して休暇を過ご

せるよう注意したいものですね。

<卓 話> 第三回クラブ協議会（クラブ・リーダーシップラーニングセミナー）報告

◇会長部門 山下 和 男 会員

2025年4月20日、厚木中央ロータリークラブをホストとして、レンブラントホテル厚木、他で開催された2025年国際ロータリー2780地区クラブリーダーシップラーニングセミナーの報告をいたします。

我がクラブからは、16名の会員が各部門に参加されました。参加された皆様、お忙しい中、参加ありがとうございました。

全体会議では我がクラブの小沢会員の功績をたたえ、その顕彰を行う時間が特別に設けられました。私は会長部門に参加しました。会長部門では、クラブ会長の役割と責務というタイトルで佐々木ガバナーよりお話をいただき、その後松下ガバナーエレクトよりクラブの運営に役立つサイトや考え方の提示を受けました。このセミナーを受講して印象的だったのは、何はともあれ会員の皆様のご協力があるからこそクラブ運営が成り立つのであるということでした。

そこで私は、おごらず いばらず 謙虚に 地域と会員の皆様のため、会長として職を全うしていきたいと再度ここに固くおもう所存でございます。という言葉をもって本報告に代えさせていただきます。

◇クラブ管理運営部門 鈴木 孝 博 会員

皆さま、こんにちは。私はクラブ管理運営委員会に参加をさせていただきました。副会長という職の方が多く参加をされていました。主にマイロータリーのお話をずっとされておりまして。やはり、マイロータリーの登録は2780地区でもなかなか進まないということをおっしゃっていました。

当クラブでも一時そのマイロータリーの登録についてチェックをした時期もありましたが、来年度、再度マイロータリークラブの登録をチェックさせていただいて、推奨をしたいと思います。

マイロータリーの登録のメリットとして、世界のロータリークラブの情報を得る、またロータリーを学ぶ、そしてロータリーブランドの素材がかなりアップされており、そこを活用して様々な資料を作り多くの情報の発信が可能であることです。今後マイロータリーの活用を促していきたいと思います。来年度、どうぞ、よろしくお願いいたします。

◇公共イメージ・広報部門 松本 明 弘 会員

クラブリーダーシップラーニングセミナーに参加いたしました。全体会議終了後、公共イメージ部門でのセミナーに参加しました。前半はSNSを活用して会員増強を目指す講演。一般人にイイねをもらえるくらいの内容のある情報交換。後半はグループに分かれてのディスカッションを行いました。11時から17時30分まで休憩もなくペットボトル1本で耐え抜きました。大変でしたが一つ確信したことがありました。それは横須賀ロータリークラブの凄さというか、組織力、団結力を感じました。ほかのクラブの悪口ではなく本当に横須賀ロータリークラブで良かったと思いました。山下年度、広報公共イメージでSNS、イイねをたくさんもらえるように頑張ります。ありがとうございました。

◇会員増強部門 角 井 駿 輔 会員

会員増強部門は、リーダーとして佐藤祐一郎パストガバナー、サブリーダーとして山田 嗣^{あきら}今年度地区委員長及び木本己樹彦次年度地区委員長という布陣で部門別セミナーが行われました。

佐藤パストガバナーからは、「増強こそ奉仕だ」という熱いメッセージと共に、「RIは各クラブの事情なんか全然わかつちやいない。クラブごとに会員増強や維持の目標を立てることで構わないと思う。」というクラブに寄り添った説明をいただきました。

山田委員長からは、「会長からみて会員増強委員長にお願いしたいこと」というテーマで話があり、マリオRI会長エレクトの最重要テーマが会員増強であること、次年度は各クラブの会員増強の状況を逐一地区に

共有する必要があることなど、クラブ担当者としては非常に耳の痛い話でした。木本次年度委員長からは、次年度について地区からは数値目標など一切指示しないので、クラブごとに適切な増強を行ってほしいという、違った意味で非常に耳の痛い話がありました。

その後、テーブルごとのグループディスカッションが行われましたが、当職のテーブルは、横須賀北RCの高田委員長、三浦RCの蛭田委員長、横須賀西RCの坂倉委員長、横須賀南西RCの菅原委員長という第1グループテーブルでした。当地区では全クラブの最初に紹介されるクラブの悲哀から、当職が発表者の役目を引き受けた上で、三浦RCの会員増強の方法等を踏まえたディスカッション結果の発表を行いました。

今後は、山下会長エレクトとも認識を共有しながら、当クラブにとって適切な目標設定やアプローチの仕方を模索してまいります。

◇職業奉仕部門 曾根宗光 会員

今回、職業奉仕部門のセミナーにおいては、「個人における事業としての利益追求」と「職業を通じての社会貢献」、この二つは「自らは得をして、相手は損をする」という二項対立的な捉え方をされがちであるが、その考え方は間違いであり、両立することができるという職業奉仕を理解する上での本質的な部分に焦点が当てられて議論が進められました。

セミナーを通じて感じたこと、それは「社会に貢献できてこそ、真の自己実現」、まずはこの本質を出発点として次年度はクラブ内における職業奉仕部門担当者として職業奉仕の活動に取り組んでいきたいと考えております。どうぞ宜しくお願いいたします。

◇社会・国際奉仕部門 齋藤秀人 会員

山下会長エレクトの号令により、9時45分横須賀中央を無事に出発した私たち一行は、渋滞もなく11時過ぎには会場に到着し、現地で出迎えてくれました鈴木豊司次年度幹事と無事に会うことができました。

全体会議では部門別プラカードが椅子の脇に立てかけてあるだけでしたので少し残念でしたが、ホテルで用意された椅子に座り、厳かに会議が始まりました。

その後の分科会では、加藤淳国際奉仕委員長とともに奉仕部門に参加いたしました。2780地区あるいは国際ロータリーのホームページにおいて、今まで行われた各クラブの活動内容や、今後どのような奉仕が求められているかをグループディスカッションを通して話し合いを行いました。

大懇親会では、京浜急行の通勤時間帯のような混雑の中、乾き物を横目に、少し早めに帰路に立ち、バス内での反省会で大きく盛り上がりました。

色々のご準備いただきました会長・幹事・事務局三宅さんに感謝申し上げます。

◇社会・国際奉仕部門 加藤 淳 会員

社会・国際奉仕部門に参加致しました加藤よりご報告致します。

今回のセミナーを通じ、2780地区で国際奉仕に着手しているクラブが全体の20%と少なく、障壁となるのが「支援したい国と繋がりたいが、そのネットワークを知らない」ということでした。当クラブの「ネパールの安全な飲料水供給等のプロジェクト」に着手できたのも、改めてロクナト会員の存在があつてのことと実感しました。

これからもクラブ間交流会に参加し、優良事例を取込み、横須賀ロータリークラブの奉仕活動に少しでもお役に立てられるよう、微力ながら取り組んでいきたいと感じました。

◇青少年奉仕部門 権田理司 会員

次年度ローターアクト委員会委員長予定者として、青少年奉仕部門に参加させて頂きました。

久保田英男PGをはじめとする講師の方々のお話しは、青少年の成長を優しく見守る立場でありながらも、将来のロータリアン、将来のリーダーを育てていくという強い熱量を感じるものでした。

地区委員会についても、次年度からはローターアクト委員会とRYLA委員会が一つの委員会になるということであり、ローターアクトクラブの立ち位置も変化していくものと考えます。

もっとも、制度の変化は変化として取り入れつつも、「将来のロータリアンを育てる」、「将来のリーダーを育てる」という視点は、青少年奉仕における一貫した課題だと思いますので、来年度以降、私自身も強い熱量をもって、この課題に取り組んで参りたいと思います。

◇青少年奉仕部門 小山陽生 会員

今週の日曜日に山下会長エレクトの下、バスをチャーターして頂き、大和市のレンブラントホテルの本会議へ行き、別の場所へ移動し青少年奉仕部門に参加してきました。この部門のリーダーは久保田PGでした。鈴木豊司副幹事から今日の例会で発表すると依頼され、インターアクトを中心に、報告の為緊張して話を聞きました。私事ですが、何で私がと思ったのですが3回目のインターアクト担当になります。部門報告ですがインターアクト部門は私が担当していました2年前と殆ど内容の変更はなく目新しい事はありませんでした。メモを取ったのはインターアクト年次大会が11月23日（日）に小田原市の相洋高等学校で開催されることです。私としては、三浦学苑の皆さん、横須賀西RCのインターアクト担当者と連絡を密にとり、学生たちと一緒に地域密着の奉仕や国際奉仕について学んで行こうと考えています。最後に本会議場に戻り、その後懇親会会場で30分ほどみんなで飲み食いして横須賀へと戻る予定でしたが余りにも内容（サンドイッチ・乾き物等）がお粗末なため10分で退散して横須賀へと戻りました。皆さんお疲れ様でした。

◇ロータリー財団部門 長尾和典 会員

4月20日に開催されましたロータリー財団分科会のご報告をさせていただきます。まず、分科会の流れを簡単に申しますと、下記の通りになります。

1. 田島敏久パストガバナーのお話
2. 次年度財団補助金VTT委員長のお話
3. 次年度平和フェロー財団奨学委員長のお話
4. 次年度財団資金ポリオ推進委員長のお話

そして、これら4名の方々のお話で45分間の分科会は終了となりました。これらの一連のお話の中で心に残った言葉を1つだけご紹介いたします。財団補助金VTTの各プロジェクトを審査して来た平塚湘南ロータリークラブの吉野龍彦さんのお言葉です。彼は次のように話されました。「私は補助金VTTの申請をされたプロジェクトを全て読ませて頂きました。そして最終的に17件のプロジェクトが承認されました。私はこれらのプロジェクトを読ませていただくにつれて、各ロータリークラブのメンバーの方々をますます尊敬するようになりました。そして、私自身も心が清らかになったと感じています。」私はこの吉野さんのお言葉を聞く機会が持てました事を本当に良かったと思いました。以上ご報告いたします。

◇米山奨学部門 小保内洋子 会員

米山奨学部門に出席しました小保内です。文章による報告となりお許しください。

はじめに、プロジェクトを利用して、豆知識の冊子より、米山記念奨学事業のあゆみ、目的、概要、並びに米山奨学事業は日本のロータリークラブの独自の事業であり国際親善と世界平和への寄与の強い願いが背景にある、と説明がありました。その後2025-26の諸行事スケジュールの確認と、各委員は年間行事に参加することによってその体験を自身のクラブに戻り伝えることがミッションであると説明がありました。

普段奨学生が異国の地にて学業とクラブイベント出席を両立している姿を微笑ましく見ていましたが、実はその裏でカウンセラー、委員、各世話クラブの皆さんの細やかな活動が奨学生を支えていることをセミナーにより詳しく知りました。

2780地区においては、コロナ、円安等諸事情があつてのことだと思いますが4年間で寄付金が約80万円減少しているとのこと。横須賀ロータリークラブの皆様は10月の米山月間で寄付をお願いすると思いますが、その際には是非ご協力お願いいたします。

最後に、印象に残ったのは、米山奨学事業において一番の財産は米山学友である、との総評でした。各行事に参加し今後皆様へ逐次活動をご報告させていただきます。

◇ラーニング部門 八巻敏博 会員

ラーニング部門は、佐野PGがリーダーでしたが体調不良で急遽欠席になりました。研修(Training)から学び(Learning)へ、参加者中心の学習とのことでした。4つのテスト、中核的倫理観、5大奉仕についてサブリーダーから説明があり、休憩を挟みテーブルディスカッションで各クラブのラーニングの現状報告といった流れで行われました。

参加者からは、ラーニングのひな型を作ってもらいたい等の意見もありました。当クラブでも次年度新会員セミナーを行いたいと思いますが、ロータリー用語がわからないとかハラスメント研修、財団セミナーなど取り入れて参加者全員で学ぶ機会としたいと思いました。

◇ラーニング部門 渡 邊 磨 会員

クラブリーダーシップラーニングセミナー(CLLS)ラーニング部門に八巻会員と出席して参りました。

ラーニングリーダーのあり方やロータリーの本質をどの様にクラブに落とし込むかについての講話後、グループディスカッションでは、各クラブにおけるラーニングの現状という内容で、みっちりと学んで参りました。内容につきましても八巻会員からも報告がありましたが、私からはロータリーの[ラーニングセンター](#)について、お伝えしたいと思います。

ロータリーでは2023年7月より、研修スタイルが受動型の研修モデルから能動型のラーニングモデルにアプローチが変更となっています。これは、会員自身がラーニングに積極的に関与し、知るべき情報や知識を自ら学ぶということになります。この新しい学びには、ロータリー[ラーニングセンター](#)の活用が肝となります。

ラーニングセンターについては、基礎的な情報を学ぶことはもちろん、学習するプランが豊富にあるのでロータリーの知識を得るにはとても分かりやすいツールとなっています。ラーニングセンターは[My ROTARY](#)から利用することが出来るので、是非ご活用いただければと思います。

2025-26年度の地区ポリシーは“Have Fun Rotary”ロータリーを楽しみましょう！来年のCLLSは4月19日(日)小田原で行われます。以上報告とさせていただきます

◇新会員部門 小 澤 長 幸 会員

今回のセミナーに参加させていただき、ロータリーについての理解を深める貴重な機会となりました。特に、大谷新一郎パストガバナーによる基調講演「ロータリーの歴史等」では、ロータリーの原点や理念について丁寧に説明していただき、その精神の大切さを実感しました。

また、木村隆也委員による「私のロータリー経験から」のお話では、個人の体験談を通してロータリー活動のやりがいや、人とのつながりの温かさを感じることができました。実際の経験を聞くことで、今後自分がどのように活動に関わっていくべきか考える良いきっかけとなりました。

ロータリー用語クイズもとても楽しく、学びの多い時間でした。堅いイメージがあった用語も、クイズ形式で学ぶことで印象に残りやすくなり、より親しみを持ってました。

セミナーでは新会員向けの研修が行われ、ロータリー用語の解説や活動の目的、ガバナーの役割、米山記念奨学会について説明されました。

1. 研修の開始と目的の説明
 - ・研修の目的と新会員の参加者について紹介。
2. ロータリーインターナショナルの概要
 - ・RIの役割と最高責任者について。
3. ガバナーの役割の説明
 - ・ガバナーの役割と訪問の重要性。
4. インターシティミーティング(IM)の説明
 - ・IMの開催方法と目的について。
 - ・地区大会との違いについての説明。
5. 米山記念奨学会の紹介
 - ・米山記念奨学会の寄付の目的と特徴。
 - ・日本の留学生への支援内容について。
6. エンドポリオ運動の紹介

- ・ポリオの危険性と予防方法について。
- ・ロータリーのポリオ撲滅活動の歴史。

研修を受け、新会員としての自覚と責任を改めて感じる事ができ、今後のクラブ活動にも積極的に参加していきたいという気持ちが強くなりました。

このような素晴らしい機会をいただき、心から感謝しております。

ロータリーを通じ社会との接点を持ち、様々な背景を持たれる皆様の考え方・生き方を謙虚に学べる貴重な機会を頂いている、ロータリーとはそういう場所かもしれませんね”と会話した事です。

今後も出会いから学ぶ姿勢を大事にして活動に貢献して参ります。この度は出席の機会を頂き有難うございました。

◇新会員部門 梶 木 洋 平 会 員

私は新会員部門（１～２年）に小澤会員と出席させて頂きました。

相模原南ＲＣの大谷パストガバナーはじめ地区ラーニング委員会の皆様より

- ロータリーの歴史
- 女性会員参画の歴史
- ロータリーで使用する用語解説
- 入会後の悩み や 良かったこと

等を講演にて学び知る事が出来ました。

特に印象的だった事はセミナーで隣に座られた藤沢地区の歯科医の先生をされている新会員の方とお話した事です。“本業だけの世界に居ては、つい立場に驕りが出たり、近視眼的な発想、価値観の偏りがでてしまう。

◇幹事部門 鈴 木 豊 司 会 員

この度幹事として、当該ラーニングセミナーへ出席して参りました。当日は地区内各地より６００名の会員が厚木の地に集い、会場内は終始熱気に包まれていました。

さてメインイベントの一つ、分科会への参加。以前は広報部門担当者として臨席し、ロータリーロゴの色にも決まりがあるなど、興味深い話の数々に終始目からうろこで充実した時間を過ごした印象でしたが、幹事部門は、話を聞けば聞く程気が重くなり、伺った話の半分も耳に入っていない状態。

「会費を払ってまでなんでこんな事をやらなきゃいけないんだ！」と思っているのでしょうか。と、講師より正に自分の心境を言い当てられ、ぐうの音も出ない始末。

それだけ重い責務を担うのだと覚悟を決めて参りました。お役ゆえに今後皆様へのお願い事多々あるかと思いますが、どうぞ優しく返して頂けたらと思います。

全ての皆様のお力添えを前提に、充実した一年を目指し活動して参ります。どうぞ宜しくお願い致します。

<閉会・点鐘> １３：３０ 高 橋 会 長

週報担当 真 野 俊 和